

「第12回 大月みらい協議会(人口問題・地域活性化を考える市民会議)」 会議概要

日にち 平成28年2月28日(日)

出席者 石井市長、委員11名(9名欠席)

【委員】 天野太文、小笠原則雄、三枝良光、佐藤茂幸、志村淳、志村賢二、仁科美芳、
新田澄郎、藤井真弓、星野喜忠、渡辺 勝

【事務局】 上條企画財政課長、石井地域活性化担当リーダー、榎本、堀内、山田

1. 星野議長あいさつ

皆さんこんにちは。お忙しい中をご出席いただきありがとうございます。今日は石井市長にもご参加いただきました。

前回は申し上げましたが、大月みらい協議会では82のアイデアを提案し、その後、部会を3つ設けて、テーマを見つけてプレゼンテーションを行いました。市の生きがい創生委員会の方々にもご参加いただき、検討していただきました。皆さんには、1年間やり繰りしていただいてご出席いただきここまで来たことに、一つの“意地”を見た思いがありました。また、事務局の応援もありここまで来れたことに大変感謝を申し上げます。

以前、市長と話しをしたときに、ノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智先生の話がありました。大村先生は山梨大学出身で、若い頃にいろいろな苦労を重ねておられますが、夢を忘れない方で、その中で、大村先生は人との出会いを大事にしてきたということをおっしゃっておいりました。一期一会という言葉がございますが、会った人を大事にすることが、将来に何かに結びつくことが多かったという話をしておりました。その話を聞いたときに、私も似たような部分があると思ひ、おそらく皆さんにも似たような経験をした方がいらっしゃるのではないかと思います。この会は、1年間、皆様に大月の将来を考えて、これからの大月を思い描いていただきました。今後、委員同士の横のつながり、人と人とがさらにつながっていければいいなと思ひました。

大月みらい協議会のこれからの在り方について、佐藤先生と相談させていただきました。前回の会議で、皆さんから意見をお伺いしましたが、ご自分の今のお立場によって、これからの方向がそれぞれ違うのではないかと思います。例えば、これから総合戦略の検証を私たちが携わることが1つ。もう1つは、自分たちで何かできることを、率先してやろうではないかということ。それから、総合戦略を検証する中で、次の市の総合計画に携わっていただく方が出てくるのではないかということ。そのようなことが考えられるのではないかと思います。

そこで、これから、もう少し後になりますが、皆さんにアンケートを送りたいと思ひております。それは、これから大月みらい協議会にどのように関わってくれるでしょうか?とい

うことです。それに基づいて今後の方向性を定めていきたいと考えております。その中で、例えば個別で何か行う場合どのようなことを考えていますか？ということが出て来ると思われますので、案を列挙していただきたいと思えます。あるいは、自分の考えというものをアンケートにお答えしていただき、次の会に結びつけていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

2. 市長あいさつ

今日はお休みの中お集まりいただきありがとうございます。いよいよ年度末に向けまして、大月の将来がどのように向かっていくのかという基礎の部分が出来上がったという状況です。そのようになりましたのも、皆様方がこの1年間、時間をかなり費やしていただいて、いろいろなご意見を出していただいたおかげであろうかと思えます。ありがとうございます。

皆様方は、それぞれお仕事が忙しい状況にあり、新田先生につきましては、毎回宮城県からわざわざ時間をかけてお越しいただき、渡辺委員は東京からお越しいただいておりました。そして、地元の皆様方には、それぞれの仕事の中で、大月を見つめていただきながら、この大月の方向を定めていただき、大変重要な役割を果たしていただきました。このことに対しまして、本当に頭の下がる思いであり、感謝を申し上げる次第であります。

しかし、これはまだ道半ばであります。ようやく基本的な部分が出来ましたが、今後は、ここに様々な要素を組み合わせながら、大月市の将来を語り始める状況になっていくのかなと思えます。その一端といたしまして、「大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

大月市は、2040年（平成52年）に、人口を19,000人という目標を立てました。この目標に向かつて、人口を維持していくためには、それぞれが相当努力していかなければ難しい数字であろうかと思えます。なおかつ、山梨県では100万人構想を打ち出し、国自体も様々な取り組みを行っております。しかし、それは数字上の問題であって、それぞれの地域が工夫をしながら組み立てをしていかないと、この数字は実現されないだろうと思えます。一方で、数の論理だけでいいのかという部分も思っております。真の意味での地方創生というのは、もっと違うところにもあるのかなと思えます。それが、これから考えていく課題であり、第7次総合計画になっていく部分であると思えます。

今後は、これまでに集約したいろいろな意見をさらに深化させていただくために、皆様方にも更なるお力添えをいただきたいと思えます。健康に十分ご留意され、今後も重要な提案、提言をしていただければと思えます。

私は、大月が目標に向かっていくためには、市民一人一人が意識を持ちながら話しをして、「大月を変えていこう」という流れを、官民が一体となって進めていくことが大事だと思っております。まちづくりは人づくりであろうと思えますので、今後も絶大なる支援をお願い申し上げながら、これまでのご労苦に対しまして、感謝を申し上げてあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

3. 議事

(1) 大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- ・大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、総合戦略（案）からの修正箇所等について説明があり、大月みらい協議会からの意見を踏まえ、平成28年2月に市の生きがい創生委員会において総合戦略が策定されたとの報告がありました。